

中央社会保険医療協議会委員名簿

平成30年7月18日現在

代表区分	氏名	現役職名
1. 健康保険、船員保険及び国民健康保険の保険者並びに被保険者、事業主及び船舶所有者を代表する委員	吉 森 俊 和 幸 野 庄 司 平 川 則 男 間 宮 清 文 宮 近 清 文 松 浦 満 晴夫 榊 原 純 夫	全国健康保険協会理事 健康保険組合連合会理事 日本労働組合総連合会総合政策局長 日本労働組合総連合会「患者本位の医療を確立する連絡会」委員 日本経済団体連合会社会保障委員会医療・介護改革部会部会長代理 全日本海員組合組合長代行 愛知県半田市長
2. 医師、歯科医師及び薬剤師を代表する委員	松 本 吉 郎 今 村 聡 城 守 国 斗 猪 口 雄 二 島 弘 志 遠 藤 秀 樹 安 部 好 弘	日本医師会常任理事 日本医師会副会長 日本医師会常任理事 全日本病院協会会長 日本病院会副会長 日本歯科医師会常務理事 日本薬剤師会副会長
3. 公益を代表する委員	荒 井 耕 関 ふ佐子 ◎ 田 辺 国 昭 中 村 洋 野 口 晴 子 松 原 由 美	一橋大学大学院経営管理研究科教授 横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授 東京大学大学院法学政治学研究科教授 慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授 早稲田大学政治経済学術院教授 早稲田大学人間科学学術院准教授
4. 専門委員	岩 田 利 雄 吉 川 久美子 横 地 常 広 丹 沢 秀 樹 平 野 秀 之 上 出 厚 志 村 井 泰 介 堀之内 晴 美 日 色 保 夫 五 嶋 規 夫	千葉県東庄町長 日本看護協会常任理事 日本臨床衛生検査技師会代表理事副会長 千葉大学大学院医学研究院（口腔科学分野）教授 第一三共株式会社執行役員渉外部長 アステラス製薬株式会社上席執行役員渉外部長 株式会社バイタルケ-エスケー・ホールディングス代表取締役社長 東レ株式会社理事（医薬・医療担当） ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社代表取締役社長 株式会社やよい専務取締役

◎印：会長

総会名簿

平成30年7月18日現在

代表区分	氏名	現役職名
1. 健康保険、船員保険及び国民健康保険の保険者並びに被保険者、事業主及び船舶所有者を代表する委員	吉 森 俊 和 幸 野 庄 司 平 川 則 男 間 宮 清 宮 近 清 文 松 浦 満 晴 夫 榊 原 純 夫	全国健康保険協会理事 健康保険組合連合会理事 日本労働組合総連合会総合政策局長 日本労働組合総連合会「患者本位の医療を確立する連絡会」委員 日本経済団体連合会社会保障委員会医療・介護改革部会部会長代理 全日本海員組合組合長代行 愛知県半田市市長
2. 医師、歯科医師及び薬剤師を代表する委員	松 本 吉 郎 今 村 聡 城 守 国 斗 猪 口 雄 二 島 弘 志 遠 藤 秀 樹 安 部 好 弘	日本医師会常任理事 日本医師会副会長 日本医師会常任理事 全日本病院協会会長 日本病院会副会長 日本歯科医師会常務理事 日本薬剤師会副会長
3. 公益を代表する委員	荒 井 耕 関 ふ 佐 子 ◎ 田 辺 国 昭 中 村 洋 野 口 晴 子 松 原 由 美	一橋大学大学院経営管理研究科教授 横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授 東京大学大学院法学政治学研究科教授 慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授 早稲田大学政治経済学術院教授 早稲田大学人間科学学術院准教授
4. 専門委員	岩 田 利 雄 吉 川 久 美 子 横 地 常 広 丹 沢 秀 樹	千葉県東庄町長 日本看護協会常任理事 日本臨床衛生検査技師会代表理事副会長 千葉大学大学院医学研究院（口腔科学分野）教授

◎印：会長

診療報酬基本問題小委員会委員名簿（案）

平成30年7月18日現在

代表区分	氏名	現役職名
1. 健康保険、船員保険及び国民健康保険の保険者並びに被保険者、事業主及び船舶所有者を代表する委員	吉 森 俊 和 幸 野 庄 司 平 川 則 男 宮 近 清 文 榑 原 純 夫	全国健康保険協会理事 健康保険組合連合会理事 日本労働組合総連合会総合政策局長 日本経済団体連合会社会保障委員会医療・介護改革部会部会長代理 愛知県半田市長
2. 医師、歯科医師及び薬剤師を代表する委員	松 本 吉 郎 今 村 聡 島 弘 志 遠 藤 秀 樹 安 部 好 弘	日本医師会常任理事 日本医師会副会長 日本病院会副会長 日本歯科医師会常務理事 日本薬剤師会副会長
3. 公益を代表する委員	荒 井 耕 関 ふ 佐子 ◎ 田 辺 国 昭 中 村 洋 野 口 晴 子 松 原 由 美	一橋大学大学院経営管理研究科教授 横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授 東京大学大学院法学政治学研究科教授 慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授 早稲田大学政治経済学術院教授 早稲田大学人間科学学術院准教授
4. 専門委員	吉 川 久美子	日本看護協会常任理事

◎印：小委員長

調査実施小委員会委員名簿（案）

平成30年7月18日現在

代表区分	氏名	現役職名
1. 健康保険、船員保険及び国民健康保険の保険者並びに被保険者、事業主及び船舶所有者を代表する委員	吉 森 俊 和 幸 野 庄 司 平 川 則 男 宮 近 清 文 松 浦 満 晴	全国健康保険協会理事 健康保険組合連合会理事 日本労働組合総連合会総合政策局長 日本経済団体連合会社会保障委員会医療・介護改革部会部会長代理 全日本海員組合組合長代行
2. 医師、歯科医師及び薬剤師を代表する委員	今 村 聡 城 守 国 斗 猪 口 雄 二 遠 藤 秀 樹 安 部 好 弘	日本医師会副会長 日本医師会常任理事 全日本病院協会会長 日本歯科医師会常務理事 日本薬剤師会副会長
3. 公益を代表する委員	荒 井 耕 田 辺 国 昭 ◎ 野 口 晴 子 松 原 由 美	一橋大学大学院経営管理研究科教授 東京大学大学院法学政治学研究科教授 早稲田大学政治経済学術院教授 早稲田大学人間科学学術院准教授

◎印：小委員長

診療報酬改定結果検証部会委員名簿

平成29年4月1日現在

代表区分	氏名	現役職名
1. 公益を代表する委員	荒井 耕	一橋大学大学院経営管理研究科教授
	○ 関 ふ佐子	横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授
	田辺 国昭	東京大学大学院法学政治学研究科教授
	中村 洋	慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授
	野口 晴子	早稲田大学政治経済学術院教授
	◎ 松原 由美	早稲田大学人間科学学術院准教授

◎印：部会長 ○印：部会長代理

薬価専門部会委員名簿（案）

平成30年7月18日現在

代表区分	氏名	現役職名
1. 健康保険、船員保険及び国民健康保険の保険者並びに被保険者、事業主及び船舶所有者を代表する委員	吉 森 俊 和 幸 野 庄 司 平 川 則 男 宮 近 清 文	全国健康保険協会理事 健康保険組合連合会理事 日本労働組合総連合会総合政策局長 日本経済団体連合会社会保障委員会医療・介護改革部会部会長代理
2. 医師、歯科医師及び薬剤師を代表する委員	松 本 吉 郎 今 村 聡 遠 藤 秀 樹 安 部 好 弘	日本医師会常任理事 日本医師会副会長 日本歯科医師会常務理事 日本薬剤師会副会長
3. 公益を代表する委員	関 ふ佐子 田 辺 国 昭 ◎ 中 村 洋 ○ 野 口 晴 子	横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授 東京大学大学院法学政治学研究科教授 慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授 早稲田大学政治経済学術院教授
4. 専門委員	平 野 秀 之 上 出 厚 志 村 井 泰 介	第一三共株式会社執行役員渉外部長 アステラス製薬株式会社上席執行役員渉外部長 株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス代表取締役社長

◎印：部会長 ○印：部会長代理

保険医療材料専門部会委員名簿（案）

平成30年7月18日現在

代表区分	氏名	現役職名
1. 健康保険、船員保険及び国民健康保険の保険者並びに被保険者、事業主及び船舶所有者を代表する委員	幸野庄司 平川則男 宮近清文 榑原純夫	健康保険組合連合会理事 日本労働組合総連合会総合政策局長 日本経済団体連合会社会保障委員会医療・介護改革部会部会長代理 愛知県半田市長
2. 医師、歯科医師及び薬剤師を代表する委員	城守国斗 島弘志 遠藤秀樹 安部好弘	日本医師会常任理事 日本病院会副会長 日本歯科医師会常務理事 日本薬剤師会副会長
3. 公益を代表する委員	荒井耕 ◎ 関ふ佐子 中村洋 ○ 松原由美	一橋大学大学院経営管理研究科教授 横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授 慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授 早稲田大学人間科学学術院准教授
4. 専門委員	堀之内晴美 日色保 五嶋規夫	東レ株式会社理事（医薬・医療担当） ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社代表取締役社長 株式会社やよい専務取締役

◎印：部会長 ○印：部会長代理

費用対効果評価専門部会委員名簿（案）

平成30年7月18日現在

代表区分	氏名	現役職名
1. 健康保険、船員保険及び国民健康保険の保険者並びに被保険者、事業主及び船舶所有者を代表する委員	吉 森 俊 和 幸 野 庄 司 間 宮 清 宮 近 清 文 松 浦 満 晴 夫 榊 原 純 夫	全国健康保険協会理事 健康保険組合連合会理事 日本労働組合総連合会「患者本位の医療を確立する連絡会」委員 日本経済団体連合会社会保障委員会医療・介護改革部会部会長代理 全日本海員組合組合長代行 愛知県半田市長
2. 医師、歯科医師及び薬剤師を代表する委員	松 本 吉 郎 城 守 国 斗 猪 口 雄 二 島 弘 志 遠 藤 秀 樹 安 部 好 弘	日本医師会常任理事 日本医師会常任理事 全日本病院協会会長 日本病院会副会長 日本歯科医師会常務理事 日本薬剤師会副会長
3. 公益を代表する委員	◎ 荒 井 耕 関 ふ 佐子 田 辺 国 昭 ○ 中 村 洋	一橋大学大学院経営管理研究科教授 横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授 東京大学大学院法学政治学研究科教授 慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授
4. 専門委員	平 野 秀 之 上 出 厚 志 堀之内 晴 美 日 色 保	第一三共株式会社執行役員渉外部長 アステラス製薬株式会社上席執行役員渉外部長 東レ株式会社理事（医薬・医療担当） ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社代表取締役社長

◎印：部会長 ○印：部会長代理

<参考人>

- ・ 福 田 敬（国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部長）
- ・ 池 田 俊 也（国際医療福祉大学教授）

医療機器の保険適用について（平成30年9月収載予定）

区分C2（新機能・新技術）

	販売名	企業名	保険償還価格	算定方式	補正加算等	外国平均 価格との比	頁数
①	Hot AXIOS システム	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社	493,000 円	原価計算方式	なし	0.93	3

〈余白〉

医療機器に係る保険適用決定区分及び価格（案）

販売名 Hot AXIOS システム
 保険適用希望企業 ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

販売名	決定区分	主な使用目的
Hot AXIOS システム	C 2（新機能・新技術）	本品は、胃壁又は腸壁に密着している、症候性腭仮性嚢胞又は70%以上の液体成分を認める症候性被包化壊死に対し、経胃又は経十二指腸的な内視鏡治療に使用される。

○ 保険償還価格

販売名	償還価格	原価計算方式		外国平均価格との比
		製品総原価		
Hot AXIOS システム	493,000 円	製品総原価	379,413 円	0.93
		営業利益	33,708 円 (流通経費を除く価格の8.16%)	
		流通経費	43,363 円 (消費税を除く価格の9.5%)	
		消費税	36,516 円	

○ 準用技術料

K 6 8 6 内視鏡的胆道拡張術 13,820 点

○ 留意事項案

・本品の使用にあたっては、関連学会の定める指針に沿って使用した場合に限り算定する。

○ 推定適用患者数

1,610 人／年

○ 市場規模予測（ピーク時）

予測年度：10 年度

本医療品使用患者数：1,449 人／年

予測販売金額：7.1 億円／年

[参考]

○ 企業希望価格

販売名	償還価格	類似機能区分	外国平均価格との比
Hot AXIOS システム	692,000 円	131 経皮的心房中隔欠損閉鎖 セット 有用性加算イ、ハ 25%	1.3

○ 諸外国におけるリストプライス

販売名	アメリカ 合衆国	連合王国	ドイツ	フランス	オーストラ リア	外国平均 価格
Hot AXIOS システム	6,710 米ド ル (751,520 円)	3,060 ポン ド (443,700 円)	4,280 ユーロ (547,840 円)	3,600 ユーロ (460,800 円)	5,297 豪ドル (456,601 円)	532,092 円

1 米ドル = 112 円	1 ポンド = 145 円
1 ユーロ = 128 円	1 豪ドル = 86.2 円
(平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月の日銀による為替レートの平均)	

○ 加算の定量化に関する研究班報告に基づいた営業利益率の評価要素

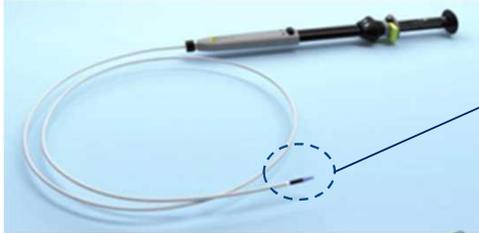
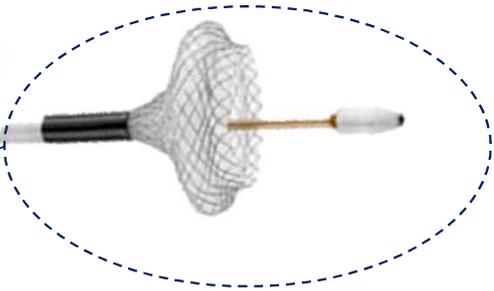
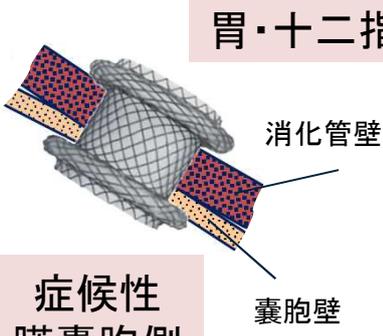
1. 基本的な革新性の評価 (直接的な患者貢献)

(3) 対象疾病の治療方法の著しい改善

に対して 4 ポイント該当する。

よって、1 ポイントあたり 5% 換算で、20% の加算となる。

製品概要

1 販売名	Hot AXIOSシステム
2 希望業者	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
3 使用目的	<p>本品は、胃壁又は腸壁に密着している、①症候性腓仮性嚢胞又は②70%以上の液体成分を認める症候性被包化壊死に対し、経胃又は経十二指腸的な内視鏡治療に使用される。</p>
4 構造・原理	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 45%;"> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">製品特徴</p> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">出典: 企業提出資料</p> <ul style="list-style-type: none"> • 膵臓にできる嚢胞のうち、以下の症候性膵嚢胞では、治療が必要となる。 <ul style="list-style-type: none"> ①症候性膵仮性嚢胞(急性膵炎後に膵液等の液体成分を含有した嚢胞) ②症候性被包化壊死(急性膵炎後に液体成分と壊死性物質を含有した嚢胞) • 本品は、症候性膵嚢胞に対して、内視鏡的に瘻孔を形成する目的で用いられ、穿刺から瘻孔形成までを一期的に実施することが可能である。 </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">   </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p style="background-color: #f0e6e6; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">胃・十二指腸側</p>  <p style="margin-top: 5px;">消化管壁</p> <p style="margin-top: 5px;">嚢胞壁</p> <p style="background-color: #f0e6e6; padding: 5px; margin-top: 10px;">症候性膵嚢胞側</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">臨床成績</p> <ul style="list-style-type: none"> • 臨床試験では、成功率は89.3%、出血等の合併症は10%に認められた。 </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">適正使用</p> <ul style="list-style-type: none"> • 日本消化器内視鏡学会、日本消化器病学会、日本膵臓学会により、適正使用指針が策定された。 </div>

臨床検査の保険適用について（平成30年8月収載予定）

		測定項目	測定方法	参考点数	頁数
①	E 3 (改良項目)	BRAF 遺伝子検査	PCR-rSS0 法	D004-2 「悪性腫瘍組織検査」 1 悪性腫瘍遺伝子検査 ハ K-ras 遺伝子検査 2,100 点	3

〈余白〉

体外診断用医薬品に係る保険適用決定区分及び保険点数（案）

販売名 MEBGEN RASKET-B キット
 保険適用希望企業 株式会社医学生物学研究所

販売名	決定区分	主な使用目的
MEBGEN RASKET-B キット	E 3（改良項目）	癌組織から抽出したゲノムDNA中のBRAF遺伝子変異（V600E）の検出 （切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌における治療選択の補助） （大腸癌におけるリンチ症候群の診断の補助）

○ 測定項目概要及び保険点数

測定項目	測定法	保険点数	準用保険点数
BRAF 遺伝子検査	PCR-rSSO 法	2,100点	D004-2 「悪性腫瘍組織検査」 1 悪性腫瘍遺伝子検査 ハ K-ras遺伝子検査

留意事項変更案

D004-2 「1」の悪性腫瘍遺伝子検査の算定留意事項について以下の下線部分について変更・追記する。

- (1) 固形腫瘍の腫瘍細胞を検体とし、PCR 法、SSCP 法、RFLP 法を用いて、悪性腫瘍の詳細な診断及び治療法の選択を目的として悪性腫瘍患者本人に対して行った、以下の遺伝子検査について、患者1人につき1回に限り算定する。（ただし、肺癌におけるEGFR 検査については、再発や増悪により、2次的遺伝子変異等が疑われ、再度治療法を選択する必要がある場合にも算定できる。また、早期大腸癌におけるリンチ症候群の除外を目的として実施した場合にあっては、K-ras 遺伝子検査又はRAS 遺伝子検査を併せて算定できないこととし、マイクロサテライト不安定性検査を実施した年月日を、診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。）

キ 大腸癌におけるEGFR 遺伝子検査、K-ras 遺伝子検査、RAS 遺伝子検査又はBRAF 遺伝子検査

○ 推定適用患者数 22,141 人/年

○市場規模予測（ピーク時）

予測年度：1 年度

本医療機器使用患者数：22,141 人/年

予測販売金額：4.6 億円/年

[参考]

○ 企業の希望保険点数

販売名	保険点数	準用保険点数
MEBGEN BASKET-B キット	6,520 点	D004-2 「悪性腫瘍組織検査」 1 悪性腫瘍遺伝子検査 又 BRAF 遺伝子検査

保険適用希望のあった新規の検査項目の概要

【区 分】 E3（改良項目）

【測定項目】 BRAF遺伝子検査

【測定方法】 PCR-rSSO法

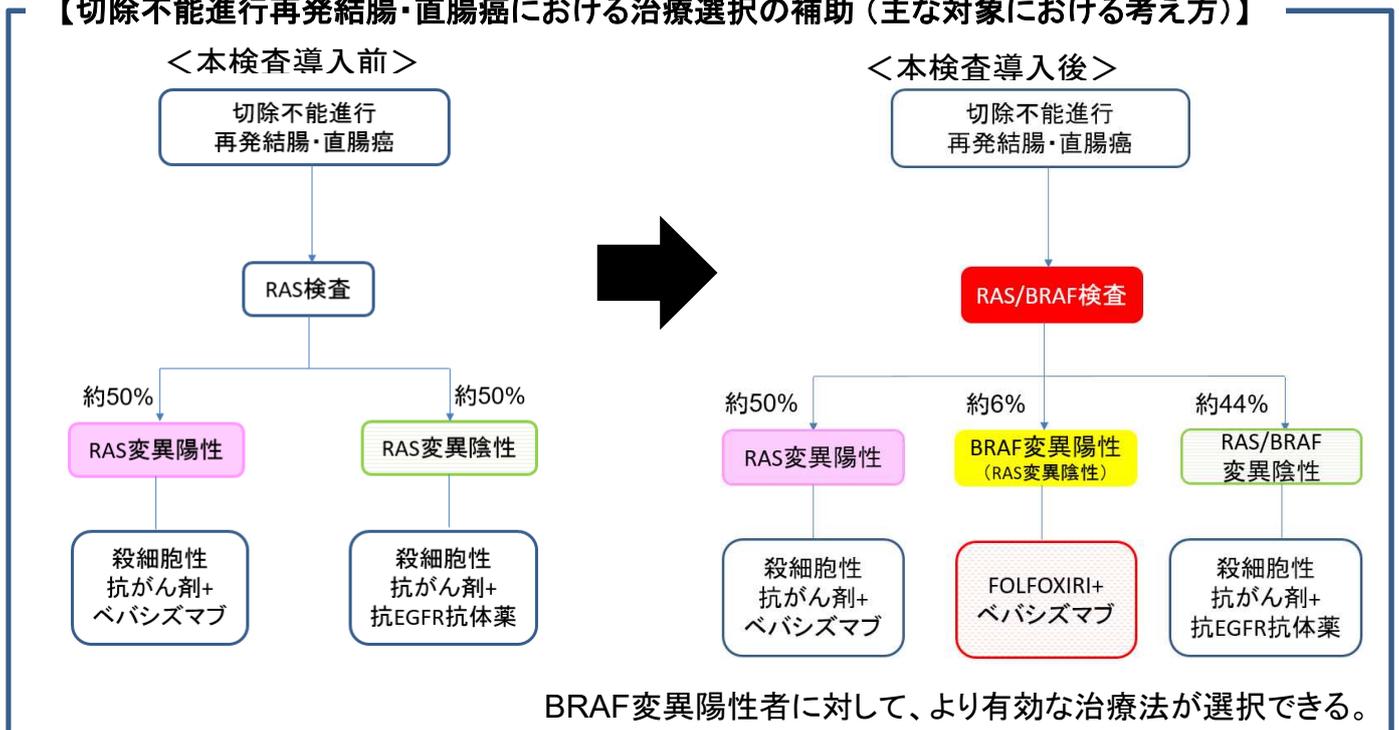
【測定目的】 大腸癌組織中のBRAF遺伝子変異の検出

・切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌における治療選択の補助

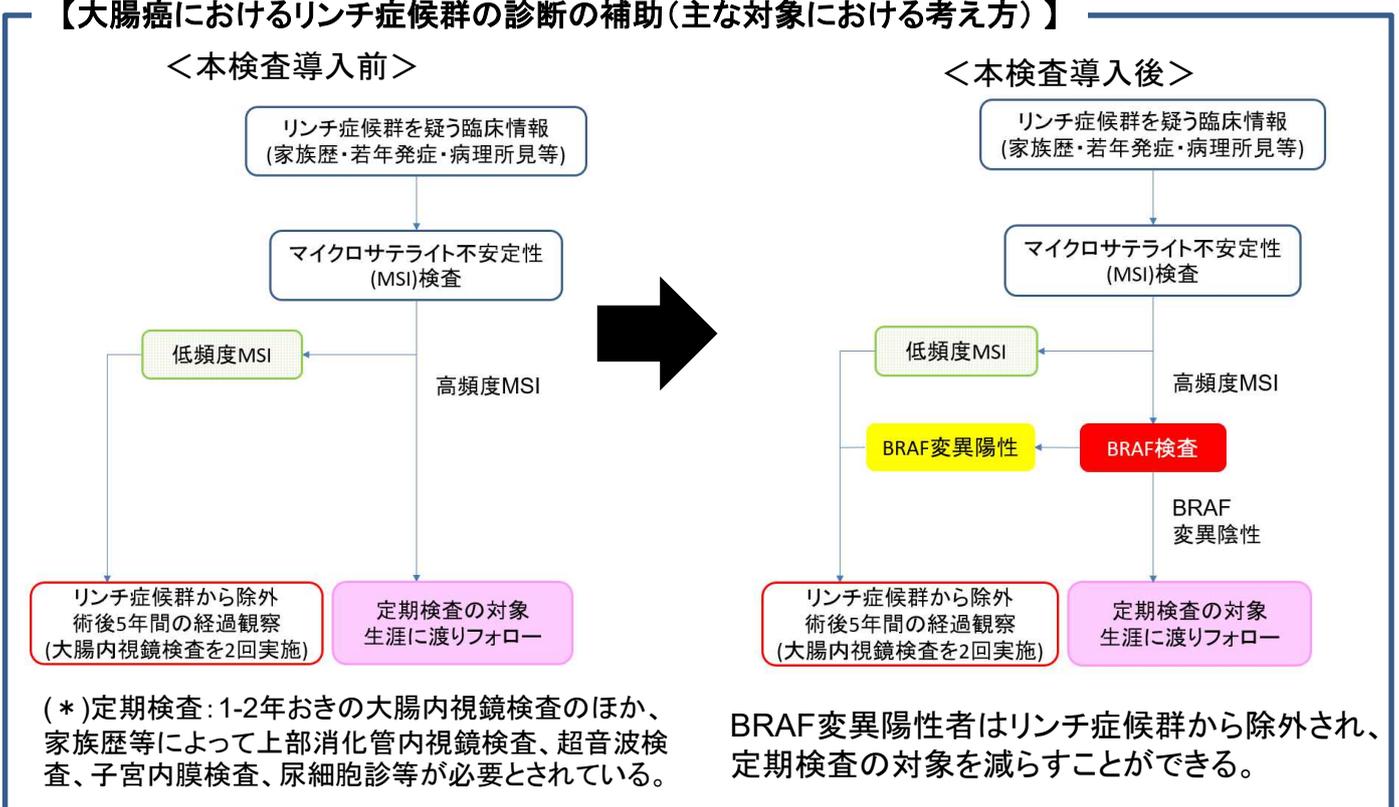
・大腸癌におけるリンチ症候群*の診断の補助 （*遺伝性大腸がんのひとつであり、子宮内膜がん等の他のがんの発症リスクも高まるとされる。）

【BRAF遺伝子検査導入前後の診断・治療フローの比較】出典：企業資料(一部改変)

【切除不能進行再発結腸・直腸癌における治療選択の補助（主な対象における考え方）】



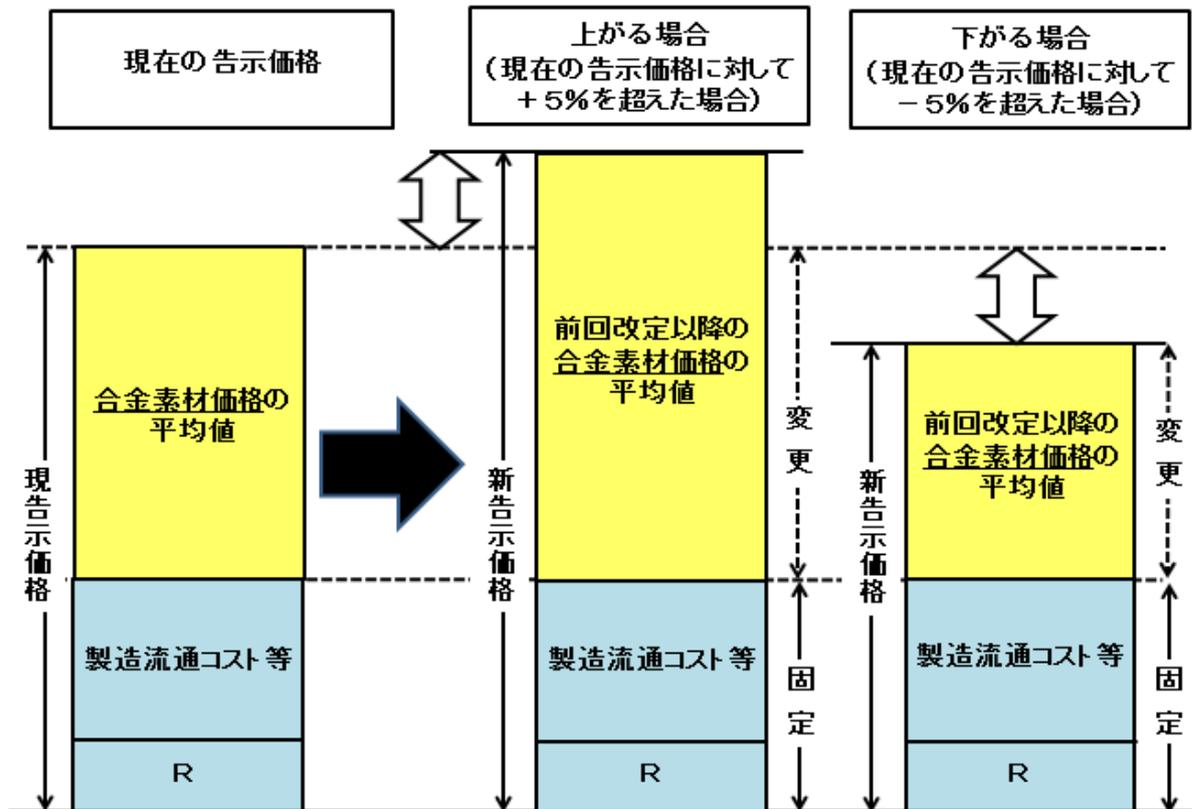
【大腸癌におけるリンチ症候群の診断の補助（主な対象における考え方）】



歯科用貴金属価格の随時改定について(平成 30 年 10 月改定)

歯科用貴金属価格の素材（金、パラジウム、銀）価格の変動幅がその時点の告示価格の±5%を超えた場合に、診療報酬改定時以外に6ヶ月毎に見直しを行うもの。

○随時改定価格の考え方



○今回の随時改定における対応

歯科用金銀パラジウム合金ろうの場合	
現在の告示価格(A)	2,227 円
補正幅(B)	+129 円
平成 30 年 10 月随時改定時の告示価格案(A+B)	2,356 円

※ 歯科用金銀パラジウム合金ろうの規格 (J I S)

金 15%以上、金・パラジウムの合計 30%以上、銀 30%以上

歯科用貴金属価格の随時改定について

	① H28年10月 随時改定 告示価格(円)	② H29年4月 随時改定 告示価格(円)	③ H29年10月 随時改定 告示価格(円)	④ H30年4月 診療報酬改定 告示価格(円)	⑤ H30年10月 随時改定 試算価格(円)	⑥ 変動率	⑦ H30年10月 随時改定 告示価格案(円)
1 (削除)							
2 歯科鑄造用14カラット金合金 インレー用(JIS適合品)	3,906	3,906	3,906	4,102	4,214	2.7%	4,102
3 歯科鑄造用14カラット金合金 鉤用(JIS適合品)	4,159	4,159	4,159	4,169	4,281	2.7%	4,169
4 歯科用14カラット金合金鉤用線(金58.33%以上)	4,411	4,411	4,411	4,556	4,668	2.5%	4,556
5 歯科用14カラット合金用金ろう(JIS適合品)	4,335	4,335	4,335	4,180	4,292	2.7%	4,180
6 歯科鑄造用金銀パラジウム合金(金12%以上JIS適合品)	1,206	1,279	1,414	1,458	1,483	1.7%	1,458
7 (削除)							
8 (削除)							
9 (削除)							
10 歯科用金銀パラジウム合金ろう(金15%以上JIS適合品)	2,366	2,366	2,366	2,227	2,356	5.8%	2,356
11 歯科鑄造用銀合金 第1種(銀60%以上インジウム5%未満JIS適合品)	122	122	122	125	124	-0.9%	125
12 歯科鑄造用銀合金 第2種(銀60%以上インジウム5%以上JIS適合品)	137	137	137	141	140	-0.8%	141
13 歯科用銀ろう(JIS適合品)	243	243	243	242	241	-0.3%	242
14 (削除)							
15 (削除)							

※1 平成30年10月の随時改定において告示価格が変更となる品目番号:10

※2 H30年10月の随時改定における新告示価格案

※3 平成22年4月より、変動率が±5%を超えた場合に告示価格の見直しを実施

※4 各項目は1g当たりの価格

歯科用貴金属素材価格の変動推移

